

テーマ：患者確認作業を簡単、速やかに

■ 背景

入院患者への食事の配膳、配薬、あるいはバイタルチェックなどの際には必ず本人確認を行う。患者一人一人のリストバンドに記載のID情報との照合を目視で行っており、配膳は1日3回、配薬も1日1～数回あるため、入院患者の多い病院では業務完了までにとても手間と時間がかかる。患者が睡眠中の場合は後回しとなることもある。

実際には看護師が内容に齟齬がないことを患者への声かけと目視で確認しているが、もしミスがあると重大インシデントに繋がる恐れがあるため、特に注意が必要である。ヒューマンエラーを削減するためには、複数人で間違いがないか確認するべきだが、人員不足などの理由により現実的ではない。

確認したい患者側の情報は患者の名前、患者ID(数字、バーコード、QRコードなど病院によって様々)、生年月日、性別などが挙げられる。これらと看護師ID情報、作業内容および作業時刻をタブレット端末上で、紐付けして記録したい。

これらの確認作業をタブレット端末などを用いて簡略化できれば、配薬などのミスがなくなると共に、作業の効率化に繋がる。



<出典：看護roo>

■ 求められる要件・機能

- ・ 操作が簡便で、様々な端末にも搭載可能な事
- ・ 文字読み取り機能がある事
- ・ バーコードやQRコードの読み取りにも対応可能な事
- ・ 電子カルテと連動できれば尚良い
- ・ 確認完了を知らせる機能
- ・ 不一致の場合はその点を指摘してくれる機能
- ・ データ保存できる事

■ 市場性

令和5年の厚労省の調査によると、1日当りの入院患者数は全国で約114万人と報告されている。本学附属病院においても令和5年度の入院患者数は497人/日であることより、この機器を使用する潜在的な機会が多い。1個1万円程度としても大きな市場性が期待できる。

■ 看護部のホームページ

<http://sumsnurse.es.shiga-med.ac.jp/>